



盆栽教室『サツキ展』【関連記事3面】

第1回『料理教室』参加者募集!!



◆日 時：6月21日(金)
午前10時00分～12時30分

- ◆場 所：上津江体育館(公民館) 調理室
- ◆内 容：季節のお寿司と魚料理を予定しています
- ◆定 員：10人程度(先着順)
- ◆参加費：500円(材料代)
- ◆申込み：★上津江公民館まで電話または
FAXでお申込みください。

◆申込締切り：6月14日(金)まで



今年度1回目の料理教室は、中津江公民館をはじめ、市内各地の公民館で料理教室の講師をされている彌永裕之さんを講師にお招きして開催します。

参加される方は、エプロン・三角巾・持ち帰り用のタッパー等を準備してください。

多くの皆様のご参加お待ちしております!



上津江公民館フェスティバルの開催日について

先月号の公民館だよりにおいて「公民館フェスティバル」の開催日を10月20日(日)としていましたが公民館だよりを読んでいただいた皆様から「その日は『川原祭り』の開催日」との指摘をいただきました。

そこで、本年度の『上津江公民館フェスティバル』の開催日は**11月10日(日)**の開催を第1候補に進めてまいります。



上津江女性セミナー

～第1講～ 開講式&人権学習会

5月29日(水)上津江女性セミナーの開講式を開催しました。この女性セミナーでは、参加者自ら年間計画を立てることで学びの意欲を高め、講座を通して会員間の交流を図りながら、学んだことを家庭や地域で活用してもらい、学びを広げていくことを目的に年間6回の開催を予定しています。

人権学習会ではDVD『わかカフェへようこそ』を鑑賞し、高齢者や外国人の人権について考えました。



利用してみませんか!?

淡窓図書館の図書貸出サービス



上津江地区にお住まいの方は、淡窓図書館の本を上津江公民館経由で本を借りることができます。

また、インターネットを使っての本探しなど公民館でお手伝いできますので、お気軽に上津江公民館までお問合せください。

★本を借りるとき

- ①電話・FAX等で申込みします
申込み用紙は公民館にあります
- ②上津江公民館で受取りします
(自宅への直接配送も出来ませんが
送料は個人負担です)

★本を返すとき

- ①公民館に返却します
- ②図書館で直接借りた本の返却で
公民館を利用するのもOKです

あなたも川柳はじめてみませんか?



1. あらためて川柳とは?

川柳とは、五・七・五の合計十七音のリズムで作られる短い詩のことを指します。

川柳によっては五・五・七といったように、文字の区切りに変化をつけることも可能です。基本となる形はあるものの、自由に形を変えることができます。

2. 俳句とのちがいは?

同じ五・七・五で構成される俳句と非常によく似ていますが、俳句にあるような決まり事はありません。俳句には季語や切れ字が必要であるなどの制約が多く、自然をテーマとした格調の高い詩を作ることが求められます。川柳に関しては細かい制約は無く、テーマも気にせず幅広い作り方ができます。

3. 作り方のコツは?

タイムリーな時事ネタ、自然に関する詩を作りたいのか、人に関する詩を作りたいのかなど、大雑把な所から考え始めてみましょう。最初は素直な気持ちを詩に盛り込み、ストレートな感情を伝える川柳づくりを目指します。飾らない詩が人の心を打つこともありますよ。

上津江公民館だよりでは毎月「今月の川柳」を掲載していますので、
お気に入りの作品ができ上がりましたら、ぜひ、上津江公民館までお寄せください♪

盆栽教室『サツキ展』開催中



5月27日(月)から、上津江振興局ロビーにおいて上津江公民館自主学习教室「盆栽教室」の皆さんによるサツキの展示が始まりました。

今年は春先の天候不順のため花の付きが悪く、展示されているサツキは数が少なめですが、ロビーを華やかに彩っています。教室生の皆さんも高齢化であと何年できるかとのことですが、元気の続く限りよろしくをお願いします。

展示期間は2週間、6月7日(金)までを予定しています。



あの日、あのとき おもい出の1枚

引き続き「昔懐かし思い出の写真」を募集しています。
あなたの思い出の上津江の写真をお寄せ下さい！



こちらの写真は今から昭和30年〜40年頃の
雉谷地区の消防団、第5分団の皆さんです。

【写真提供・宮木淳さん】

※ こちらの写真は公民館事務室の入口にて拡大したものを展示します。

市民と行政の懸け橋！ 定例行政相談会 のお知らせ！

毎月1回水曜日 午前10時から12時まで、上津江振興局相談室にて行政相談を行っています。

6月の相談日 19日(水) / 7月の相談日 17日(水)



笑顔の種 #42



「田植え終わった？」

あちこちでこういう挨拶が交わされ「終わったよ。」という返事が少しずつ増えている。温暖化のせいか例年より少し早いとのこと。

田植えはコメ作りの最初の大仕事である。数十年前までは牛で田を耕し、ご近所で田植えを手伝い合っていたという話も出た。大変だったけど、楽しかったと。

私が子どものころは田植え休みがあり、父の実家で伝言と配達係として家と田んぼを何往復もした。

お米を作っている皆さんが、秋の収穫まで毎日、田の水、稲の病気、害虫、イノシシなどの対策で目が離せないと話すのを、改めて感心して聞いた。(感謝の思いを重ねて。)

帰宅途中、植えたばかりの田んぼを車の窓から見ながら、これがやがて風にそよぐ緑の絨毯に変わり秋には黄金色になるのだと思い、思わず深呼吸をした。

上津江公民館長 武原 文子



上津江町の自治会別人口・世帯数 令和6年4月30日現在

		川原	都留	上野田	雉谷	上津江町
人口	男	79	68	95	64	306
	女	88	71	110	55	324
	合計	167	139	205	119	630
世帯数		91	67	106	69	333
高齢化率(%) (令和6年3月31日)		63.3	64.3	53.4	38.7	55.6

上津江公民館これからの予定

- ~6/7頃まで 盆栽教室『サツキ展』
- 6/8 津江っ子チャレンジクラブ 開講式
- 6/12 家庭教育学習『かわ先生とつくろう!』
- 6/21 料理教室 第1回

今月の川柳作品

人間が 一番怖いと 知る世相 (シゲちゃん)

残酷で悲惨な戦争、簡単に人の命を奪う事件の多さ、地球の温暖化等々、地球も人間もおかしくなってきたか、いると思うのは私だけでしょうか。

裏金が 表に出るか 規制法 (豊信)

政治資金の改革で十分な法改正により、表面に出るのか 実効性を期待したいものです。

いい婦と 巡り会ったぞ 翔平さん (畑中森のヒラメ)

先日の始球式。心臓病と闘う少年に優しい心。

大相撲 久々にみる 大物だ (畑中森のヒラメ)

間違はなく横綱になる人だ。その人の名は「大の里」。相撲協会の英断で、次の場所は大関になって登場でも。

物価高 値引き品に 手がのびる ()

店頭で値引きシールを見ると嬉しい。

茶畑 摘む人いなく こころ放棄 ()

人手不足、お茶の消費量減少、原因は色々あるでしょうが 田んぼと同様、荒れ地が年々目立ち始めました。

コラ！コロナ いつまで居座る 私も負けた (ター婆ちゃん)

二日ほど熱を出し、水枕と氷で冷やして休みました。

杉切りし 美しくそびえる 渡神山 (ター婆ちゃん)

旧杉室小学校の校歌にあり、どんな山だろうと思っていました。杉の伐採で中津江の山々がくつきりと思えるようになりました。

皆さまの川柳作品の投稿をお待ちしています！

6月25日(火)までにお送りいただいた作品は次号に掲載いたします

- ①作品、②作品についての簡単なコメント(説明)、③氏名、④住所、⑤電話番号を明記して公民館までお送りください

